

公益財団法人 日本測量調査技術協会

2024(令和6)年度事業報告(第19回評議員会(2025(令和7)年6月18日開催)承認から)

詳細は、当協会のホームページ〔測技協について〕の情報公開ページでご確認いただけます

【法人活動】

1. 会員の動向

会員区分	2024年3月末	2025年3月末	増減
正会員	104社	105社	新入会2、退会2、賛助会員から異動1
賛助会員	22社	22社	新入会3、退会2、正会員に異動1
計	126社	127社	

2. 主要会議の開催状況

(1) 評議員会・理事会・業務執行役員会 ※第62回理事会は対面、その他はWEB併用

会議名	区分	開催年月日	主な議題
評議員会	第18回	2024.6.19	2023年度事業報告・収支決算承認ほか
理事会	第61回	2024.5.31	第18回評議員会の日時及び場所並びに目的事項ほか
	第62回	2024.6.19	代表理事および業務執行理事選定ほか
	第63回	2024.12.6	代表理事及び業務執行理事の2024年度上期職務執行報告ほか
	第64回	2025.3.18	2025年度事業計画・収支予算ほか
業務執行役員会	第2回	2025.2.26	財務改善計画

(2) 委員会 ※特記以外はWEB併用

会議名	区分	開催年月日	主な議題
運営委員会	第1回	2024.12.10	上期運営概況と今後の計画・通期収支見込の概要報告ほか
	第2回	2025.3.24	今期事業報告および収支決算見通しの概要報告ほか
			(幹事会2回開催) 運営に係る意見交換ほか
事業委員会	第1回	2024.5.23	2023年度活動報告および2024年度活動計画ほか
	第2回	2025.2.20	2024年度活動報告(案)、2025年度活動計画(案)ほか
			(幹事会9回開催) 国土交通省への提言・積算ハンドブック紹介版ほか
地区事業委員会	東北	2024.6.5	前年度活動報告、当年度活動方針、意見交換など 近畿・九州は対面、その他はWEB併用
	北陸・信越	2024.7.4	
	東海	2024.7.24	
	近畿	2024.8.1	
	中国四国	2024.8.28	
	北海道	2024.9.5	
	九州	2024.9.11	
関東	2024.9.25		

3. その他の協会活動

(1) 2023年度委託研究契約に係る実地調査への対応

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の委託研究に関して、防災科学技術研究所イノベーション推進室の担当官による実地調査が7月26日に行なわれ、適正に管理されていると判定された。

(2) カーボンニュートラルに関する情報交換会

カーボンニュートラル実現について、会員各社の課題や検討内容を情報交換する会を3回開催した。

【公益目的事業活動】

ア 技術研究

(1) 自主研究活動

先端測量技術による高精度かつ効率的計測手法の実用化にむけた調査研究や新技術の実証実験・精度検証、測量技術・事業の将来展望等に関する自主研究活動を、技術委員会及び技術部会、ワーキンググループを中心に取り組んだ。特に、林野庁、国土交通省、国土地理院などの協議会・委員会等への委員派遣や、内閣府や国土地理院との意見交換を行うなど、情報収集と提言活動等に積極的に取り組んだ。

また、様々な分野で活用される地上系3次元計測の新技術に係る調査研究や標準化を検討するため、地上3次元計測タスクフォースを設置した。

会議名	区分	開催年月日	主な議題
技術委員会	第1回	2024.6.10	本年度活動方針、地上3次元計測タスクフォース設置、測量調査技術発表会ほか
	第2回	2024.9.4	各部会の活動報告、外部活動の情報共有、測量調査技術発表会開催報告ほか
	第3回	2024.11.12	各部会の活動報告、国土地理院との意見交換会ほか
	第4回	2025.2.5	各部会の活動報告、刊行図書の編集状況、次年度活動について意見交換ほか
			(幹事会5回開催)

委員会・部会・WG	登録者	会員数	開催	
空中計測・マッピング部会	66	49	4(2)(2)	地理空間情報整備に関する技術の調査検討、技術提案
航空レーザWG (含ALB_SWG)	32	13	9	航空レーザ測量・測深に関する標準化、航空レーザポータルサイト更新
MMS_WG	43	29	4	「公共測量積算ハンドブック」解説記述の見直し
位置情報・応用計測部会	57	45	5	位置情報取得・応用計測技術の検討、技術提案
GNSS_WG	24	19	6	「GNSS標高マニュアル(案)」と標高改定の課題検討
河川の深浅測量WG	46	27	6	スワ音響測深機を用いた河川深浅測量作業マニュアルの様式見直し
3次元GIS部会	60	48	4(4)	3次元地理空間情報の動向調査、3次元地理空間情報のあり方提言検討
BIM/CIM_WG	58	37	3	BIM/CIM関連情報の集約・情報共有・討論、測量成果の設計での活用提案
国土管理・コンサル部会	38	34	4(2)	地理空間情報の環境・防災分野利活用、3次元情報利活用研究
ドローンWG	80	58	4(1)	作業上の共通課題に関する意見交換、UAVヒヤリハット集の作成
技術普及部会	14	14	1	技術発表会の運営企画・支援、学生への先端測量技術紹介と業界説明
衛星リモートセンシングWG	29	20	3(2)(2)	衛星データ利活用のための情報交換、基本図更新業務の課題検討
地上3次元計測タスクフォース	11	8	2(1)	地上系3次元計測に係る検討のための課題整理
計(延べ)	558	401	57(12)	

※ () は幹事会/作業部会 []は合同会議 < > は他の部会・WG活動に参画

(2) 国との意見(情報)交換会・ヒアリング等

部会等	開催年月日	相手先	テーマ
空中計測・マッピング部会、 3次元GIS部会	2024.4.11	国土交通省都市局国際・デジタル政策課 デジタル活用推進室係長	3D都市モデル標準製品仕様書について
位置情報・応用計測部会	2024.7.23	国土地理院測地部測地技術調整官、測地技術活用推進官、測地基準課長ほか	全国標高改定について
国土管理・コンサル部会	2024.7.31	国土地理院応用地理部長、地理調査課長	能登半島地震への対応(写真判読・解析)について
空中計測・マッピング部会	2024.10.9	国土地理院基本図情報部長、管理課長、管理課長補佐	緊急災害対応(巨大地震を見すえた空撮案策定等)について
技術委員会	2024.11.12	国土地理院企画部技術政策企画官、測地部物理測地課長	航空重力測量等、これからの測量資格制度について
航空レーザWG	2024.12.19	国土地理院基本図情報部長ほか	航空レーザ測量の計測予定地区に関する課題事項と対応策について
空中計測・マッピング部会、 航空レーザWG	2025.2.12	内閣府海洋事務局参事官補佐、国土地理院基本図情報部画像調査課長補佐	国境離島の状況把握について
3次元GIS部会	2025.2.21	国土交通省政策統括官付専門調査官ほか	歩行空間ナビ・プロジェクトについて

(3) 国機関等への提言活動

- ・3次元地理空間情報のあり方に関する提言

法定図書等を活用した継続的な3次元地理空間情報の整備と持続可能な更新体制の構築について、昨年度とりまとめた提言骨子案をもとに国土地理院幹部等と意見交換を行った。また、提言骨子案をもとに3次元GIS部会が主体となって提言書を作成した。

(4) 受託研究活動

	件名	発注元(計画機関)	契約方式 受託金額(税込千円)
1	災害情報の広域かつ瞬時把握・共有ー航空機撮影データの収集・統合システム開発	(国研) 防災科学技術研究所 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)	委託研究 4,976
2	防災行動を促すリアルタイムリスク情報の生成・提供技術ー浸水情報の品質評価手法開発	(国研) 防災科学技術研究所 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)	委託研究 10,000
3	令和6年度 発掘調査のイノベーションによる新たな埋蔵文化財保護システムの構築に関する調査研究事業	文化庁 (令和6年4月15日～令和7年3月21日)	委託研究(総合評価落札) 17,974
4	令和6年度 地理情報標準に関する調査検討業務	国土地理院 (令和6年7月29日～令和7年3月7日)	測量(随意契約(特命)) 8,613
5	地理空間情報の技術振興にかかる調査検討業務	国土地理院 (令和7年1月23日～令和7年3月7日)	役務(一般競争入札) 3,982
合計			45,545

(5) 測技協キャビネットを活用し、各種情報の共有、大容量ファイルの伝達等を行った。

(6) 外部委員等の派遣・外部研究会・協議会等への参加

林野庁「森林整備事業における補助金の申請・検査のデジタル化に向けたガイドライン作成等委託事業」に係る事業推進委員会(委員1名)、経済産業省・国土交通省小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会(委員1名)、国土交通省ICT導入協議会(委員1名)、国土交通省BIM/CIM推進委員会(委員1名)、同幹事会(幹事1名)、同基準・要領改訂に関するPT(メンバー2名)、同CAD製図基準PT(メンバー2名)、国土交通省社会資本整備審議会道路分科会道路技術小委員会道路土工構造物分野会議(委員1名)、国土交通省次世代型流量観測検討会(委員2名)、国土地理院測量行政懇談会(委員1名)、同測量資格制度検討部会(委員1名)、同流通・活用制度部会(オブザーバ1名)、国土地理院公共測量に関する課題調査検討委員会(委員1名)、国土地理院測量士・測量士補試験考査委員会(委員1名)、国土地理院広報推進協議会(構成員2名)、同調整WG(構成員1名)、中部地方整備局南海トラフ地震対策中部圏戦略会議(構成員1名)、千葉県地質環境対策審議会(委員1名)、(公社)土木学会ISO対応特別委員会(委員1名)、(一社)日本測量機器工業会ISO/TC172/SC6国内委員会(委員1名)、同UAVフィールドテスト委員会(委員1名)、同LS部会(委員2名)、ISO/TC17123-11作業部会(委員1名)、日本無人機運行管理コンソーシアム(JUTM)社会実装WG(構成員2名)、国際標準・エコシステムWG、同次世代空モビリティSWG(構成員各1名)、(一社)流域水管理研究所これからの災害対策の在り方研究会(委員1名)、(一財)建設情報総合センター社会基盤情報標準化委員会特別委員会(委員1名)、(公社)日本道路協会道路震災対策委員会(委員1名、幹事1名)、(公社)日本測量協会測量近代化研究会(委員8名)、同基準点WG(委員3名)、同写真測量WG(委員4名)、ソフトバンク(株)電子基準点のリアルタイムデータを利用したVRSサービスに関する検証評価委員会(委員1名)、東日本高速道路(株)関東支社災害対策連絡会(幹事1名)、地図展推進協議会(委員1名、事務局員1名)、「測量の日」実行委員会(委員1名、幹事1名)、電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会(幹事1名)、復興測量支援連絡会(委員1名)、測量系CPD協議会連絡会(構成員1名)、建設関連業イメージアップ促進協議会(オブザーバ1名)、G空間EXPO運営協議会(構成員3名)

イ 技術普及

(1) 第46回測量調査技術発表会

8月8日に新宿区立四谷区民ホールにて集合形式で開催。10月8日から22日の15日間、WEBによる発表動画の公開。いずれも特別講演1編、技術発表13編、部会等活動報告等3編、合計17編のプログラムを測量及び設計CPDの学習プログラムの対象とした。会場参加者は205名(内非会員15名)、このうち188名(内非会員13名)に測量CPD、設計CPD各5ポイントを証明する参加証明書を発行した。WEB公開参加者は、事前登録者688名(内非会員94名)、アンケート回答および視聴確認(4者択一で設問)に正答された319名(内非会員59名)に、測量CPD5ポイント、設計CPD5ポイントを証明する参加証明書を発行した。また、発表者18名に発表証明(測量CPD2ポイント)、受賞者13名に受賞証明(測量CPD1~4ポイント)、技術論文審査及び発表審査、要旨集及び発表用スライド等の報文執筆、発表会運営に関する支援についてそれぞれ測量CPDを証明する活動実施証明書を発行した。

(2) 2024年度 社会・技術動向講演会

事業計画で掲げた「交流活動の活性化」にもとづき、昨年度試行した地方開催(札幌)が好評であったため、今年度も東京以外にもう1か所、地区会員の発表を含める形での開催を継続することとし、福岡と東京の計2か所で開催した。

・「社会・技術動向講演会 2024 in 福岡」

9月10日に福岡(リファレンス 駅東ビル)で開催、参加者40名(活動実施証明書発行)、収録動画Web公開2024年11月25日~12月12日、視聴登録者465名、参加証明書276名(測量及び設計CPD)に発行。社会動向講演として九州地方整備局 企画部インフラDX推進室長、技術動向講演として九州大学 大学院工学研究院附属アジア防災研究センター教授、研究活動報告として国土管理・コンサル部会、地区会員による技術発表として大成ジオテック(株)、第一復建(株)、扇精光コンサルタンツ(株)、(株)快適空間FCによる計7講演。

・「社会・技術動向講演会 2024 in 東京」

10月30日に東京(測量年金会館)で開催、参加者71名(参加証明書発行67名)、収録動画Web公開2025年1月27日から2月13日、視聴登録者録584名、参加証明書311名に発行。講演は、衛星地球観測コンソーシアム(CONSEO)による衛星観測戦略、3D都市モデルの社会実装を目指すProject PLATEAWの最新動向、全国の標高成果の改定をテーマに、宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター 技術領域主幹、国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課 デジタル情報活用推進室 企画専門官、国土交通省 国土地理院 測地部 測地技術活用推進官による計3講演。

(3) 第6回日韓空間情報フォーラム 2024

大韓民国京畿道高陽市(KINTEX)にて、韓国がホスト国となって11月7日に開催された。(2025年5月Web公開)

参加人数：日本側38名、韓国側8名。

翌11月8日に韓国国土地理情報院(水原市)にて、チョ・ウーソク院長と川久保専務理事による発表および参加者による意見交換が行われた。

(4) 測量技術のこれからを語り合う未来の主役たちin名古屋

初めての試みとして、将来の測量業界を担う世代(概ね35歳まで)による課題の共有や意見交換を目的とした会議を試行し、非常に好評であった。

(5) G空間EXPO 2025(1月29日~31日 東京ビッグサイト、1月22日~2月7日WEB開催)

地理空間情報フォーラムを関係4団体と共同で主催した。なお、G空間EXPOは今回から会場を東京ビッグサイトに移してグリーンインフラ産業展などと同時開催となり、会期も年明け1月に変更となった。

(6) 機関誌『先端測量技術』

会議名	区分	開催年月日	主な議題
編集委員会	第1回	2025.1.15	『先端測量技術』121号進捗報告、122号編集内容検討、2025年度編集方針協議
	第2回	2025.2.20	『先端測量技術』121号発行報告、122号測技協創立45周年特集記事編集協議

111号発行(2024年12月)、山本地理院長インタビュー、第46回測量調査技術発表会 特別講演他
120号発行(2024年3月)、GIS学会 山本会長インタビュー、第46回測量調査技術発表会 論文、測技協
創立45年特集「測量調査技術の変遷2025」他

(7) 技術図書の頒布

『新訂 JPGIS入門』 4月刊行
2024年度版『公共測量積算ハンドブック』 9月刊行

(8) 国土交通大学への講師派遣

専門課程等の研修への講師派遣、受講者を推薦

(9) その他の技術普及活動

- ・「測量の日」実行委員会として参加
- ・地図展推進協議会の構成員として「地図展2024金沢」を主催
- ・国土地理院実施JICA課題別研修「国家測量計画管理」における東北地方巡検(11月)に講師を派遣
- ・測量継続教育(測量CPD)プログラム「社会貢献等」に関する8項目について委員会・部会活動などによる活動実施証明書を発行

ウ 地理情報の標準化

1) ISO/TC 211国内委員会

国内委員会を4回、幹事会を3回開催し、国際規格案の投票・コメント等の審議を行った。

2) ISO/TC 211国内審議団体活動

- ・ISO/TC 211第58回総会 2024.6.24~28 ロンドン(イギリス)、Web併用開催
参加者:計116名、国内から国土地理院3名、民間等4名(全員Web参加)
- ・ISO/TC 211第59回総会 2024.11.11~15 シドニー(オーストラリア)、Web併用開催
参加者:計123名、国内から国土地理院3名、民間等4名(全員Web参加)

エ 地理情報標準認定資格

初級・中級技術者の講習・試験、上級技術者の試験は下記のとおり実施した。中級技術者講習・試験は受験要件改定後2度目の実施で、受験者数は前回同様、改定前の約1.4倍となった。上級技術者試験は受験要件改定後、初の募集となり、応募者数が上昇に転じた。

	初級技術者	中級技術者	上級技術者
講習日	6月10日(月)~7月17日(木) 3時間以上のe-ラーニング	10月17日(木)~19日(土) (3日間)	—
試験日	7月19日(金)~28日(日)の任意の1日 追試験:8月10日(土)	10月19日(土)	5月26日(日)
実施場所	CBTソリューションズのテストセンター (約300か所)	東京・大阪 (2会場)	東京 (1会場)
試験問題	多肢択一式30問 全問解答	多肢択一式20問 記述式3問	記述式3問 2問選択解答
受講者	222名	50名	—
受験者	244名	53名	13名
合格者	150名(67.9%)	27名(50.9%)	6名(46.2%)

技術者資格登録の5年毎の登録更新制度によるeラーニング講習では、2014及び2019年度試験合格者等のうち3月末日現在で119名が登録更新を行った。学識経験者等から認定資格の運営及び実施計画等について意見を求める資格認定委員会を6回、講習会及び試験等に関する業務を行う講習・試験委員会を10回開催した。

オ 品質検定

1) 成果検定業務実績 (万円)

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
公共 空中写真撮影	138	87	231	153	394	321	240	217	
公共 航空レーザ測量	502	536	1,524	2,016	3,247	2,648	2,284	1,822	
公共 写真地図	172	90	331	221	126	172	231	169	
公共 数値地形図	1,952	2,833	2,653	2,202	3,196	3,679	3,547	2,395	
基本測量	0	488	257	160	0	450	0	526	
合計	金額	2,764	4,034	4,996	4,752	6,963	7,270	6,302	5,129
	件数	101	112	138	146	162	160	145	173

2) 測量成果品質管理表彰

2023年4月から翌年3月までの1年間に当協会の検定を受けた測量成果から16件を選考し、第46回測量調査技術発表会の表彰式で受賞者を表彰した。

カ 災害時緊急撮影

国土交通省国土地理院、地方整備局等と締結した緊急撮影協定に基づき、災害発生時の要請に基づく緊急撮影等の対応可能会社調査を行うとともに、防災訓練に参加した。

1) 協定先

国土地理院、東北・中部・近畿・中国・四国各地方整備局、NEXCO中日本八王子支社、NEXCO東日本関東支社、NEXCO西日本、徳島県

2) 実施状況

- ・東北地方整備局 航空レーザ測量 令和6年(2024年)7月25日からの豪雨に対する対応(8月9日-9月13日)
- ・国土地理院 緊急対応情報伝達訓練(5月26日)
- ・中部地方整備局 地震時初動対応訓練(11月19日)
- ・協定フォローアップ打合せ 東北地方整備局(6月5日)、中部地方整備局(7月25日、8月22日)、NEXCO西日本(7月31日)、近畿地方整備局(8月1日)、四国地方整備局(8月22日)

3) 協定の締結

西日本高速道路株式会社と「大規模災害時等における緊急撮影に関する協定」を締結した(5月31日)。
 徳島県と「災害時における空中写真撮影等による被災状況調査に関する協定」を締結した(8月23日)

4) その他

国土地理院より「令和6年能登半島地震災害に伴う緊急撮影」ほか2件への対応について感謝状を授与された(3月13日)。

キ 表彰

第46回測量調査技術発表会表彰式にて、賞状および副賞の授与により表彰を行った。

- 1) 優秀発表賞：技術発表の審査を実施し、3者を選考し表彰
- 2) 優秀技術論文：機関誌「先端測量技術」120号掲載の論文を審査し、会長賞、奨励賞各1編を表彰